

～地域資源・地域特性を生かした官民連携による脱炭素の推進～

# “まちごとカーボンゼロ”を目指して



くみまち

2025年11月6日

株式会社カインズ

くみまち推進統括部

統括部長 大西 健太郎



株式会社カインズ くみまち推進統括部 統括部長

### 【略歴】

- ・米ピッツバーグ大学院公共政策修了（MPA）
- ・グロービス経営大学院修了（MBA）
- ・アクセンチュア）  
コンサルタントとして、電子政府・自治体プロジェクトに参画
- ・日本コカ・コーラ）  
サステナビリティ部門の創設メンバーとして13年従事  
ペットボトルtoペットボトル、「いろはす」、ノンフロン自販機などに貢献
- ・APPJ）  
持続可能な森林経営およびコーポレートコミュニケーションに従事
- ・ミスミグループ本社）  
コーポレートブランディングや工学系学生支援プログラムの企画・実践など
- ・カインズ）  
地域課題解決と価値創造に資する「くみまち構想」を2021年に創設・主管。2050年目標「まちごとカーボンゼロ」に向け、商品・店舗等自社アセットを活かした地域脱炭素に資する各種共創プロジェクトを推進。グローバルホームセンター業界団体EDRA/GHINのScope3タスクフォースメンバー。

# 株式会社カインズ 会社概要



✓ 1989年設立

✓ 全国256店舗

(2025年2月末)

✓ 従業員 約27,520人

(2025年4月末現在)

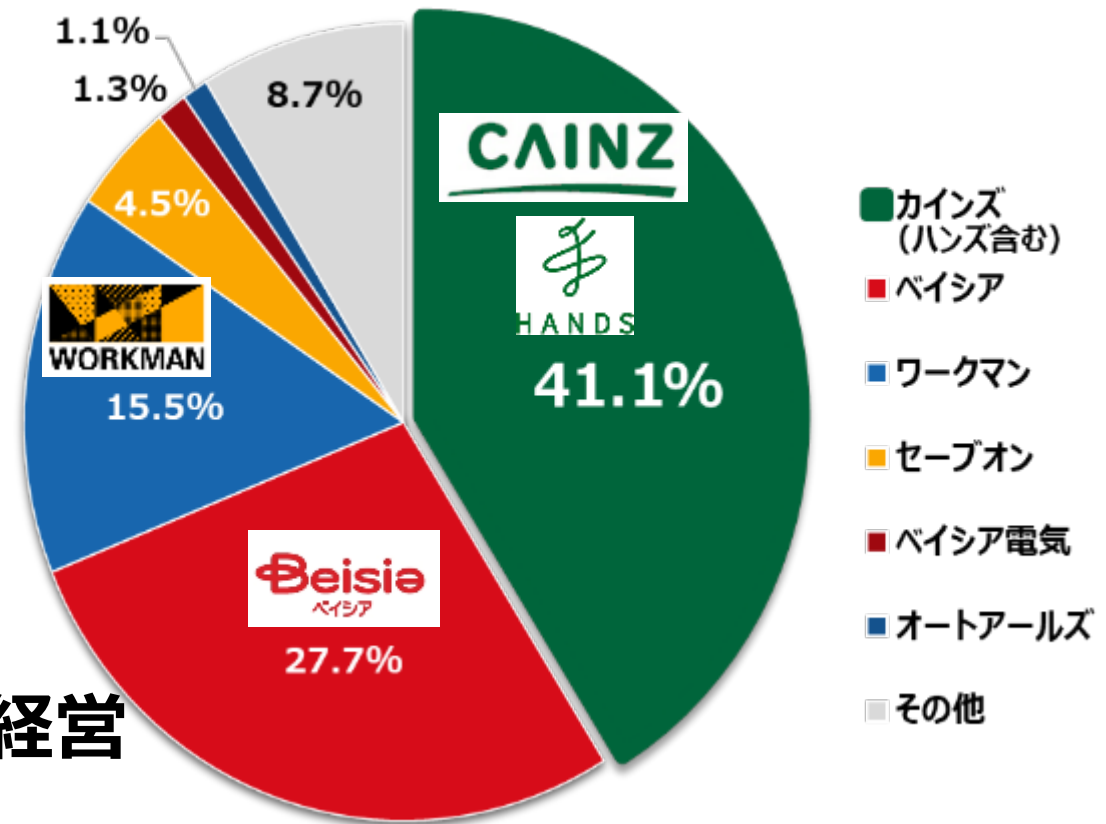
✓ 売上高 5,738億円

業界トップクラス (2025年2月末)

✓ 事業内容 ホームセンターチェーンの経営

✓ 国内6番目の流通グループに所属

グループ売上高 1兆1,136億円 (2024年2月期)





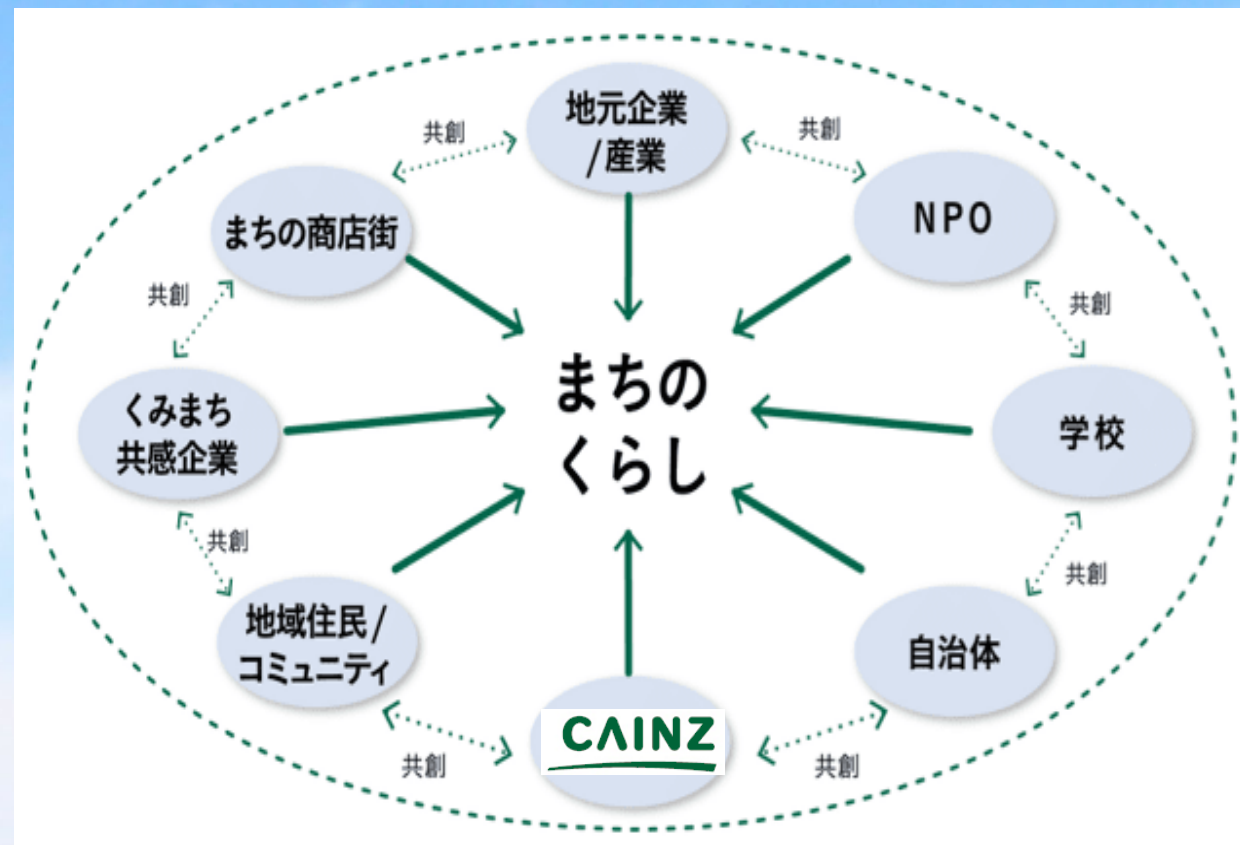
くみまち

まちのくらしをみんなでDIY。

カインズは、創業来、地域と共にくらしを営みながら歩んできました。  
その間、地球環境の変化や少子高齢化などによりくらしは大きく変化し、  
個性ある地域ごとに様々な課題も生まれてきました。

カインズは、地域の皆さんのくらしを、より安心に、より楽しく、  
より自分らしくするために。

地域の皆さんと協力し、地域の皆さんが主役の、  
未来の「まちのくらし」を共に創っていきたいと考えています。  
それが“くみまち構想”です。



## 優先領域

地域産業  
振興

教育・  
子育て

防災・  
災害対応

環境

地域  
モビリティ

コミュニティ

## “カインズのある「まち」ごとカーボンゼロ”

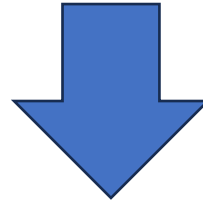
- ①カインズのサプライチェーン全体のカーボンゼロ達成
  - ②カインズのある「まち」のカーボンゼロ達成にも貢献
- (スコープ1・2・3 + a)**

# “カーボンゼロ”なくらし

**緩和策**  
(CO<sub>2</sub>の削減)

X

**適応策**  
(気候変動に合わせた各種変革)



## くらしのアップデートが必要

カインズは、気候変動時代のウェルビーイングなくらしを模索

自治体・企業様等と共創連携しながら

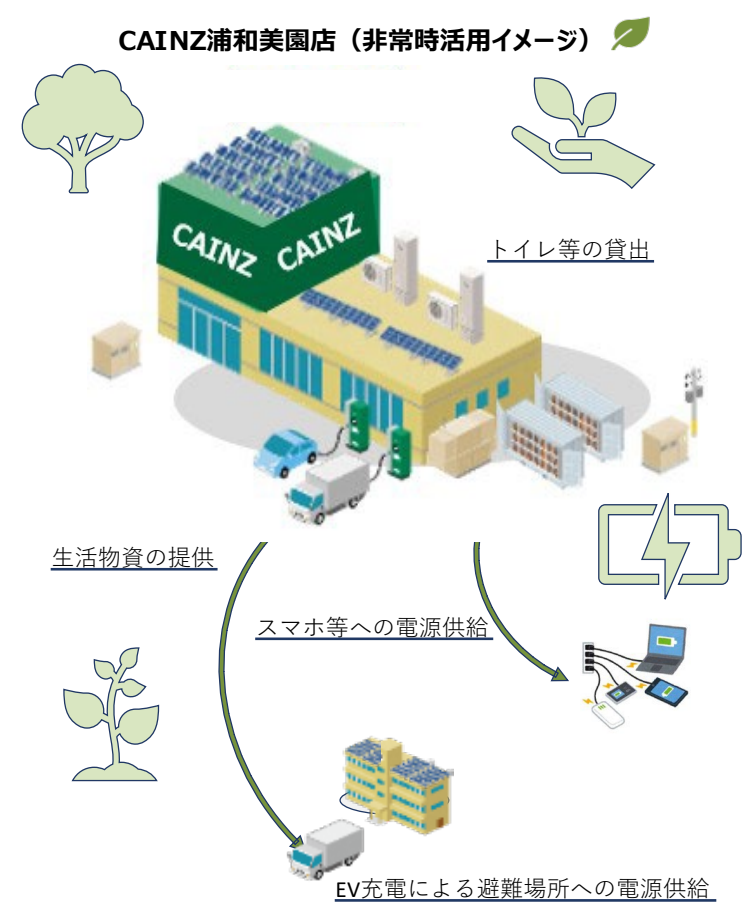
新しいくらし創りへ貢献

# 自治体連携による脱炭素

## 地域連携でまちのカーボンゼロ化と災害レジリエンス強化に貢献



埼玉県本庄市・東京電力PG・カインズ  
「ゼロカーボンシティ共創協定」



さいたま市 「脱炭素先行地域」  
共創事業

# 企業連携による脱炭素

## 競合社とも連携して物流を効率化することで、物流面の脱炭素を推進

カインズ、DCM、高末の3社 共同配送を開始 ホームセンター2社と物流企業がタッグを組み 物流効率化で地域のお客様の暮らしを支えます

2025.02.14

株式会社カインズ（本部：埼玉県本庄市、代表取締役社長 CEO：高家 正行、以下「カインズ」）は、DCM株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石黒 靖規、以下「DCM」）および総合物流企業の高末株式会社（愛知県名古屋市長：代表取締役社長：高村 徹郎、以下「高末」）と、2月17日（月）から東海エリアの一部地域において、各店舗および物流センター間における共同配送を開始します。店舗納品の共同配送により、空車走行距離・走行時間の短縮やトラックドライバー不足の解消、CO2排出量削減を目指します。



### ルートA



### ルートB

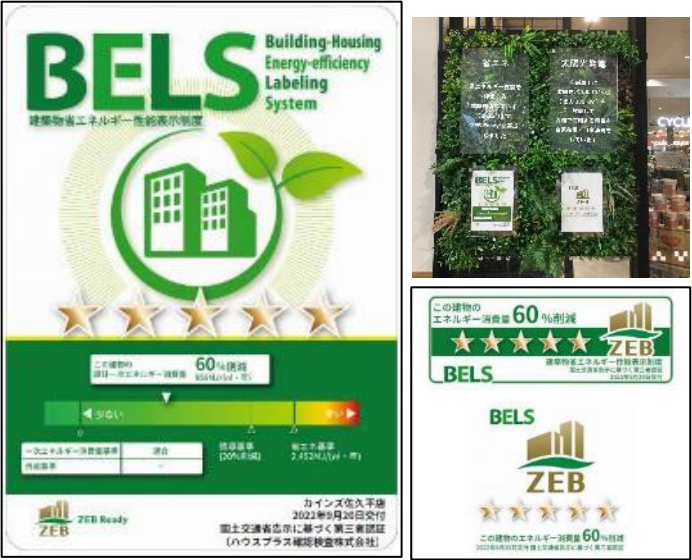


# 店舗の脱炭素

店舗の脱炭素化を推進する中で、災害時のレジリエンス強化や地域経済の活性化にも貢献

## 省エネ

エネルギー効率をアップ



建物断熱の向上、高効率の都市ガスヒートポンプ空調機、自動調光LED照明、センサー制御等の採用で、エネルギー消費量を50%削減



## 創エネ・蓄エネ

電気もDIYで災害時レジリエンスも強化



- ・店舗屋上に太陽光パネルを設置
- ・一部店舗ではソーラーカーポートを設置
- ・蓄電池の導入も開始

## 再エネ

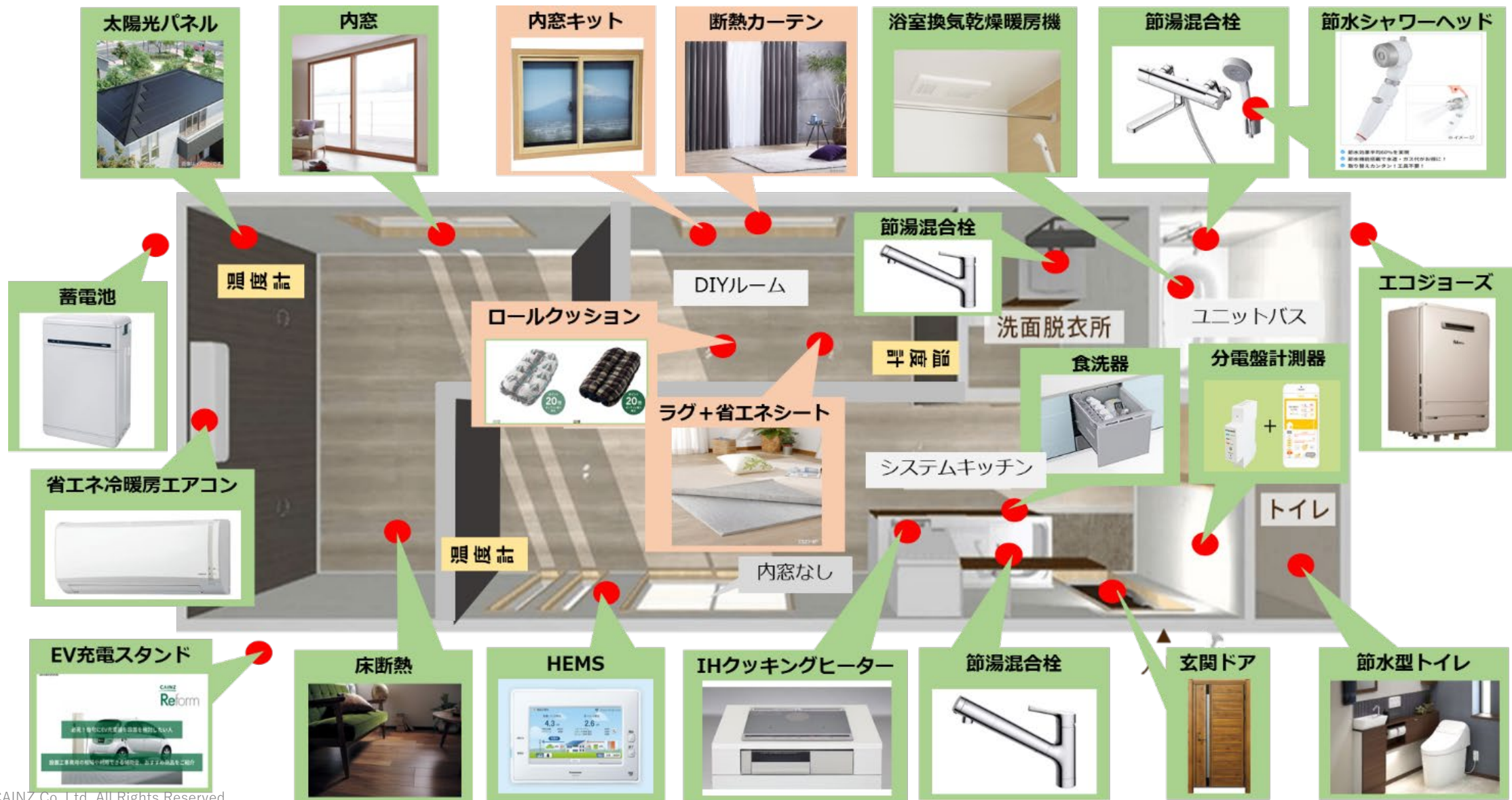
電気の地産地消で地域経済にも貢献



- ・地元木質バイオマス発電事業者から電力を調達（壬生店）
- ・群馬県の水力発電電力を利用し群馬県全店舗をCO2フリー化

# 商品による脱炭素

**快適なくらし & 脱炭素なくらしの両立を、様々な商品を通じて生活者にご提案**



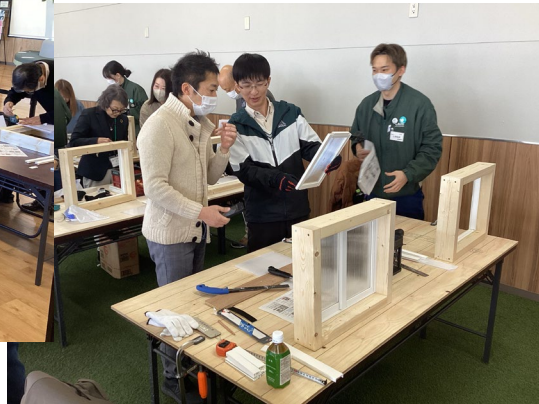
# 啓発による脱炭素（断熱）

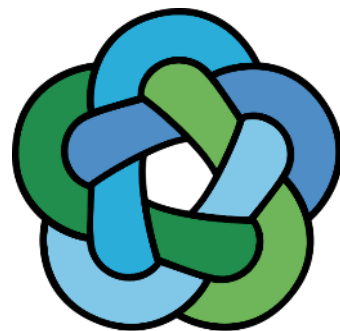
## 快適な暮らしをつくるための、断熱セミナー・断熱DIYワークショップを開催

団地や集会所を断熱改修するワークショップに参加



店舗内イベントスペースを使用して開催





くみまち

**まちのくらしをみんなでDIY。**